

学びのデザインシート(授業前)

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【地理歴史科／地理総合】

1. 対象

授業に出席出来た際には一生懸命取り組もうとする姿勢が見られる。周りをけん引できる生徒が交じり合っている。

2. 単元名 「地球的課題と国際協力」(全6時間)

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。
思考力, 判断力, 表現力等	世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。
学びに向かう力, 人間性等	世界各地で見られる地球環境問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、主体的に追究・解決しようとする。

4. 本時の目標

生徒が、アフリカで起こる飢餓の原因を資料から考察し、前時に学んだ人口問題や、既習事項である気候などと絡め、ジグソー法によって多面的・多角的に捉え、表現できるようになる。

5. 授業展開【 **本時** ・ 単元 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い
●「世界で起こっている、飢餓とはなんだろうか？アフリカで飢餓は何故起こるのか？」

考えるための材料
・教科書 ・地図帳 ・WFPサイト ・荏開津典生『「飢餓」と「飽食」』（講談社メチエ、1994年） ・ワールドビジョンHP ・JICAサイト 総合地球環境学研究所サイト
想定される活動
・グラフの読み取り ・文章の読み取り

対話と思考(対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

・耕地面積が減っているのになぜ人口が増えるのだろうか？生まなければいいのに…。→前の時間にやった、発展途上国の人口増加の問題があったけど、それじゃないかな？
・アフリカの降水量のグラフは、1970年代を境にマイナスになっているけど、降水量のマイナスってなんだろう？→
+は雨が降っている、マイナスは蒸発ということでは？

学習の成果(予想される生徒のあらわれ)

元々アフリカは熱帯と乾燥帯が大半で「農業がしにくい」地域であるが、農業がしにくいと同時に「生活もしにくい」地域でもあるため、子供を労働力とするために人口は増える一方である。従って人口が増えて必要な食料も増えているのに農地は増えない。この「農業のしにくさ」が近年は地球温暖化という気候変動のためにより一層深刻になっている。現在ある農地は、欧米に植民地支配されていた影響でプランテーション農園として換金作物を生産するために使われており、本人たちの口にするようなモノはあまり積極的に生産されていない。以上のことから飢餓が起こっている。

対話と思考(対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

※設定する対話の方法(グループ形態、時間設定、留意事項など)を簡潔に記入してください。

※対話や思考のプロセスを想定し、生徒の言葉で具体的に記入してください。

学習の成果(予想される生徒のあらわれ)

※設定した「解決したい課題や問い」に対する生徒のあらわれを想定し、生徒の言葉で具体的に記入してください。